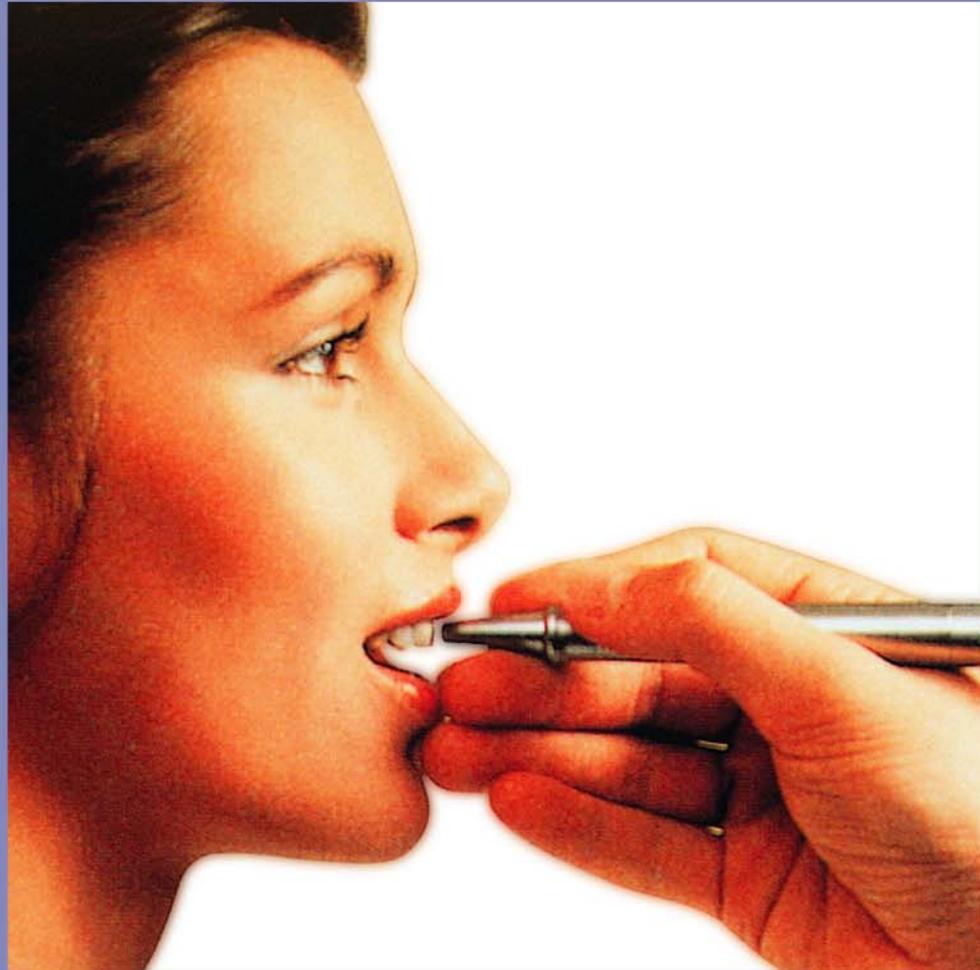


Periotest

ペリオテスト

MEDIZINTECHNIK
GULDEN

動的歯周組織診査・診断装置



数値ほど明確な判断基準はありません。

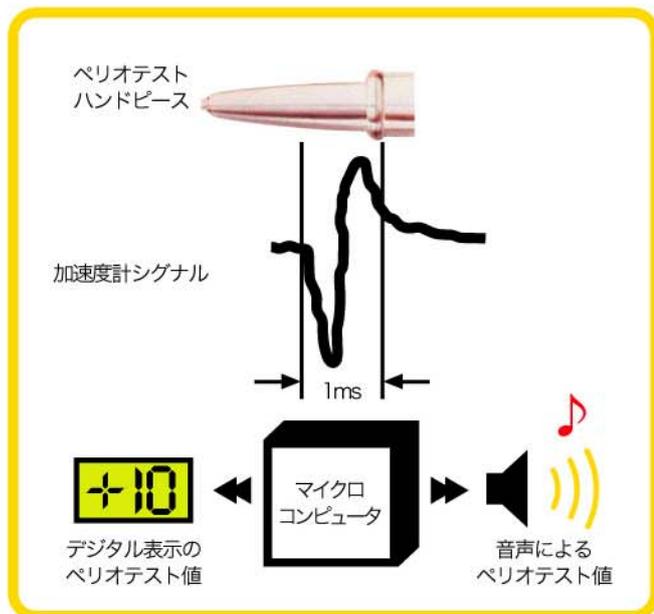
歯の動揺度を速やかにマイクロコンピュータが計測して信頼性の高い測定値をデジタル表示。また、音声で伝えます。

客観的で再現性のある測定法によって広範囲の症例に応用でき、例えばインプラント症例におけるオッセオインテグレーション確得の成否、また歯周治療における不正咬合の影響の診査或いは咬合調整後の経過観察にも応用できます。

Periotest

ペリオテスト

簡単な操作で、精巧な機能が
客観的な「ペリオテスト値」を正確に測定します。



電子駆動方式によるハンドピースのタッピングヘッドが1秒間に4回歯面を打診します。歯周組織が健全であれば歯の安定度が大きく、歯面を軽打したタッピングヘッドは、より速く戻ります。歯槽骨や軟組織に異常があるとタッピングヘッドの接触時間が1ミリ秒の何分の1か長くなります。

1歯について16回打診を繰り返して(約4秒間)、微妙な接触時間の差異をマイクロコンピュータが正確に算出して平均値を-8~+50の数値で「ペリオテスト値」として表示します。この測定値は歯周支持組織の性状を示す生物物理学的パラメータとして再現性があり、その測定値は診断にとって信頼性の高いものです。

測定のみかたが不適當であると、取り消し機能が作動してデジタルと音声で警告しますから、誤った測定値が表示されることがなく、いつも正しい測定値が得られます。

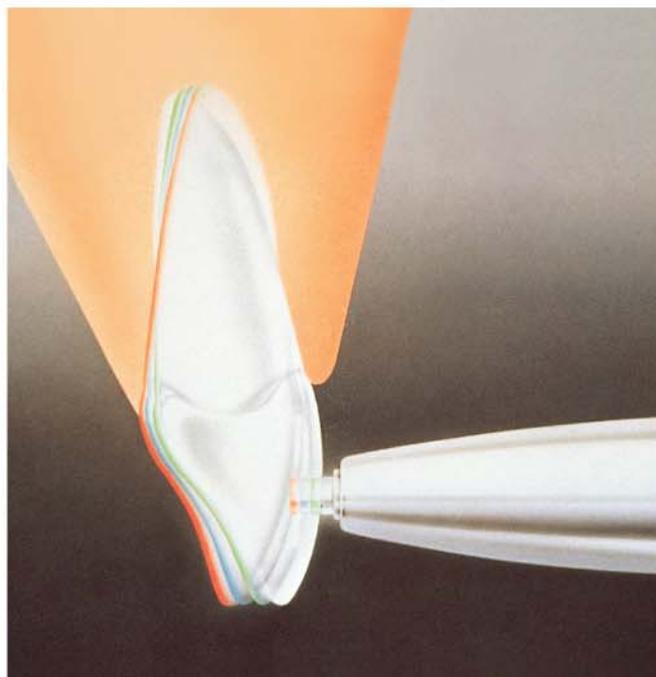
初期徴候の診断も的確に行うことができます。

臨床的動揺度が0の場合でも、ペリオテストは18段階に判別しますから、歯周組織の進行性徴候はもちろん、初期病変も見逃しません。ですから、エックス線診査で追認するまでもなく歯周組織の性状について、的確な診断を下すことができます。

ペリオテスト値(PT値)は、歯の動揺を結果的に認識する従来の方法と違い、歯の動揺度に密接な相関関係のある測定値です。その相関関係は下記の通りです。

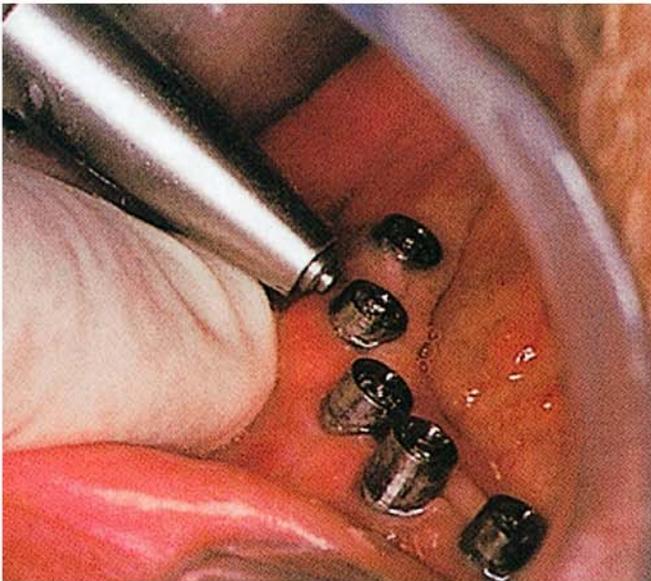
■ ペリオテスト値(PT値)分析法

臨床的動揺度	臨床的性状	ペリオテスト値
0	動揺が認められない	-08~+09
I	触診で動揺が感じられる	+10~+19
II	視覚的に動揺が認められる	+20~+29
III	舌や口唇で歯が動揺する	+30~+50



広い範囲の症例に応用できます。

- 咬合性外傷によるものを含む歯周組織の初期および現症の構造的変化の診査に。
- 歯周疾患治療後の定期的診査に。
- 不正咬合の歯周組織への影響や咬合調整後のモニタリングに。
- 固定歯の診断（支台歯としての有効性の確認や補綴物の選択の判断に。）



▲ Miller指数（臨床動揺度）が0の場合でも、ペリオテストは-8から+9までの18段階のPT値を測定できます。

■ 咬合診査への応用例

上下顎を噛み合わせたときと咬合を離開したときの測定値の差が6から10ある場合は、咬合による過重負担が歯周組織に及ぼしていますので、このような場合はほとんど例外なく咬合調整を行う必要があります。

■ インプラント治療への臨床応用例

客観的で再現性のある測定法で診断ができるペリオテストのインプラントへの応用が欧米の多くの歯科大学（歯学部）や歯学研究所で10数年にわたり研究と調査が行われてきました。インプラント治療ではアバットメントにおいて測定します。2～3%の微妙なインプラントの固着の変化を測定値から判断できるため、早期に診療結果を予見することができます。

多くの研究プロジェクトの臨床評価によって、下記のPT値がインプラントの固着確得の成否を表しています。

ペリオテスト値	臨床的性状
PT -8～0	ペリオテスト値が0以下の場合にはインプラントの経過良好で、インプラントは安定している。
PT 0～+9	ペリオテスト値が0から+9の場合、口腔内所見、X線所見と合せて慎重に診断する必要があります。ペリオテスト値は上顎臼歯と比較すると、通常下顎臼歯のほうがより低い数値を示します。
PT +10～+50	ペリオテスト値が+10以上の場合、明らかに問題が生じています。十分なオッセオインテグレーションが獲得されていません。

測定値に幅があるのは、ひとつには、骨密度によるものです（通例、天然歯においては上顎歯は下顎歯よりも高い数値を示します）。オッセオインテグレイテッド・インプラントの診査においては、PT値が低いほど固着の安定性が高いといえます。臨床的に動揺が認められない症例でも、上記のPT値（-8～+9）を超えた場合は、急激な負荷がかかったときに失敗例につながる高い危険性があります。

ペリオテストはまた、次のように応用しますと診療への一助となります。

1. アバットメントを装着した段階で、上部構造の製作、装着へと治療を進めるか、或いは治癒するまで待つべきかの判断
2. 不快な、または不具合なインプラントの診査
3. 再生治療法を行う段階でのフィクチャーに対する残存組織の評価
4. 咬合負荷の影響の診査

主な特徴

■ 測定法は無痛で、簡単

ペリオテストの測定法は、簡単で、無痛、そして実証的です。治療中や予後に定期的に診査して、回復状態を客観的に評価することができます。

■ 軽量でコンパクトな本体 減菌も簡単なハンドピース

本体はわずか1kg。ハンドピースは100g。充電式コードレスですから場所を選びません。デンタルユニットのインストゥルメントテーブルの上に折たたみ式脚部を立てて測定値を読みやすい角度で、またはストラップがついていますから首にかけても使用できます。



■ 測定結果は、目と耳で確認

測定値はデジタルで表示されるとともに音声で聞きとることができますから、アシスタントがカルテに記入中も先生は患者さんの診療を続けることができます。また、患者さんはより科学的な診断法で治療がすすめられることに、先生への信頼をより深めることができます。



仕様

■ 形式 ペリオテスト3218

■ 電気的定格

本体 定格電圧：DC17V

電撃に対する保護の形式：内部電源機器

電撃に対する保護の程度：BF形装着部

防水保護：通常機器(防水機能無し)

動作モード：連続使用

(歯科用機器の動作手順に従った運転間隔による)

充電器 定格電圧：AC110V

電源周波数：50/60HZ

消費電力：5.9VA

電撃に対する保護の形式：クラスII 機器

内蔵バッテリー

12V、500mAh 充電式電池 部品番号5952999

充電時間：10時間(付属の充電器使用)

■ 寸法及び重量

本体 寸法 W:148×D:42×H:193(mm)

重量 800g

充電器 寸法 W:48×D:50×H:75(mm)

重量 230g

ハンドピース

寸法 直径:15×長さ:150(mm)

重量 100g

ケーブル長さ 1750(mm)

ペリオテストは、シーメンス社がチュービンゲン大学とフラウンホーファー情報科学研究所の協力を得て開発した製品です。現在シーメンス社のペリオテスト部門が独立したメデジンテック グルデン社が製造並びに業務一切を引継いでいます。

特定保守管理医療機器

製品名：ペリオテスト

分類：管理医療機器

医療機器承認番号：21600BZY00527000

一般的名称：歯牙動揺測定器

製造元：メデジンテック グルデン

国名：ドイツ

※ 技術的改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2010.10*PC*3000

製品のご案内はホームページでも確認できます。▶▶ www.tokyodental.co.jp

東京歯科産業

検索

製造販売元



東京歯科産業株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-10-5

TEL:03-3831-0176 FAX:03-3835-8254

E-mail: endopore@tokyodental.co.jp

製造元

MEDIZINTECHNIK

GULDEN